

## 第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	2	ぬくもり・雄武		整理番号	25
基本施策	7	高齢者支援の充実	評 価 責 任 者	保健福祉課長 山崎 佳之	
単位施策	3	社会参加の促進			

### 1 施策の概要

基本方針	高齢者自らが生きがいを創り出すとともに、地域づくりへの参画を促進することを目的に、老人クラブの活性化など、生きがい活動を促進する。				
現状と課題	【現状】（平成21年度末）				【現状】（平成23年度末）
	介護保険制度以外の福祉サービスとして、入浴優待券の交付など各種サービスを実施するとともに、老人クラブの育成などを進めている。高齢化の一層の推進に対応し、高齢者が生き生きと地域で生活できるよう、支援を強化している。		介護保険制度以外の福祉サービスとして、入浴優待券の交付など各種サービスを実施するとともに、老人クラブの育成などを進めている。高齢化の一層の進展に対応し、高齢者が生き生きと地域で生活できるよう、社会福祉協議会と連携して支援を強化している。		
	【課題】（平成21年度末）				【課題】（平成23年度末）
	各種サービスを実施しながら、単位老人クラブ・老人クラブ連合会への支援や組織強化を進めるとともに、文化・スポーツ・レクリエーション活動、世代交流活動の充実を図り、高齢者の積極的な社会参加を促し地域での生きがい活動を促進する。		各種サービスを実施しながら、単位老人クラブ・老人クラブ連合会への支援や組織強化を進めるとともに、文化・スポーツ・レクリエーション活動、世代交流活動の充実を図り、高齢者の積極的な社会参加を促し、未加入者のクラブ参加を働きかけていかなければならない。		

### 2 基本施策指標

指標	指標名	年度						目標値（H24）
		計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
指標1	高齢者が生きがいを持って生活している割合							
	定義等	アンケート等調査により、設定指標の割合を算出する						
	目標値							80%
	実績値	未調査	未調査	未調査	未調査	74.10%		
指標2	指標名							
	定義等							
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	老人福祉施設等改修整備事業	社会福祉係	5,817	A	継続/現状維持	A
②	敬老祝金支給事業	社会福祉係	2,240	A	継続/現状維持	A
③	敬老会賄費等助成事業	社会福祉係	1,434	A	継続/現状維持	A
④	老人クラブ連合会運営補助事業	社会福祉係	1,000	A	継続/現状維持	A
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	対象高齢者への支援、老人クラブ活動等の活性化を図る上で必要な施策である。
② 有効性	A	本施策を行うことにより、高齢者の方々の生きがい、老人クラブ等の活性化を図っている。
③ 効率性	A	対象高齢者の方々に対する支援及び老人クラブ等の利用施設に対し、計画的に整備を行っており、効率的である。
④ 公平性	A	本施策は、対象高齢者に対して行われており、公平である。
⑤ 町民意見の反映	A	対象高齢者への支援、老人クラブ等の活性化を図り、老人の生きがいを引き出すため、高齢者等の意見を聞き支援している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
高齢者自らが生きがいを創り出し、高齢者福祉の向上のため、町の支援は必要であり、社会福祉協議会と連携して事業を進めることができた。	同左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
高齢者自らが生きがいを創り出し、地域づくりへの参画を促進することを目的に、町の支援は必要であり、生活支援・活動支援充実のため、継続して行うことが重要である。	同左	

\*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止